

## 電波観測部門報告 No. 215 The Report of Radio Meteor Observation in JAPAN

電波観測部門担当幹事 小川 宏 (Hiroshi Ogawa)  
h-ogawa@nms.gr.jp

新年明けましておめでとうございます

昨年は皆様方からの多大なるご支援いただきありがとうございました。本年もよろしくお願いいたします。

## 1. しし座流星群、世界的にも流星電波観測では検出できず？ (注：06年12月5日現在)

20世紀末から21世紀はじめにかけて歴史的な大出現を見せたしし座流星群ですが、2006年の活動は世界的にみても流星電波観測では検出できなかった模様です。日本各地では、しし座流星群と思われる活動を顕著にとらえた地点はなく、Activity Level の指標では、通常レベルの範囲内となりました。図1は東京都の杉本弘文氏の観測結果です。しし座流星群の活動付近を始め、落ち着いた活動をみせています。また、ロングエコー数についても各地ばらばらで、特定の日に増加している傾向はありません。

このほか、ヨーロッパ各地（スペイン、イギリスなど）の観測データからも顕著な活動は捕らえられていません（12月5日現在）。正式な国際データ統合結果はまた別の機会にさせていただきたいと思えます。

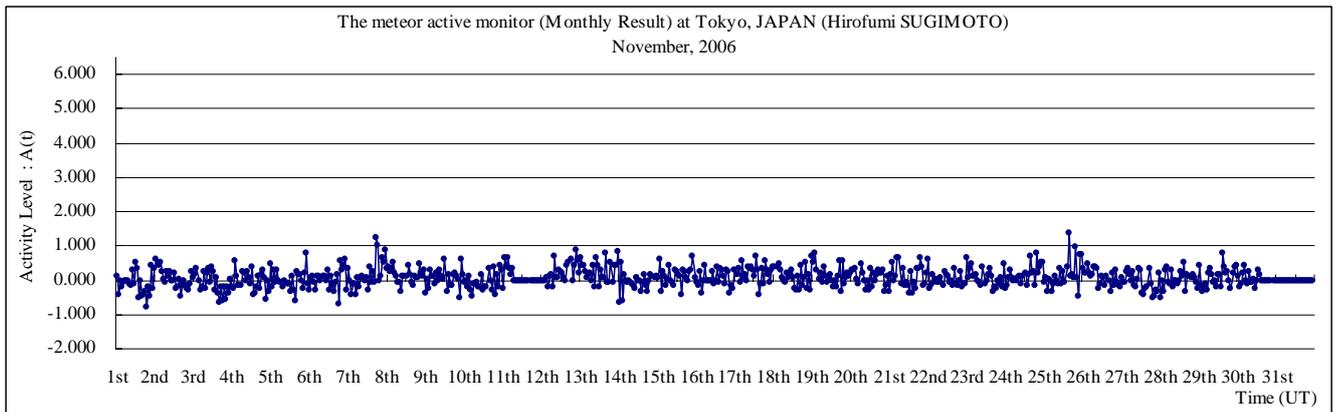


図1. 11月流星電波観測 観測結果 (杉本弘文氏：東京都)

## 2. 1月観測指針

1月は、例年4日早朝にしぶんぎ座流星群の極大を迎えます。2007年は、極大時刻が日本時間で4日9時ということもあり、空は明るいのですが、輻射点高度は高く、流星電波観測としては最高の観測条件となりそうです。Activity Level は5を軽く超える地点が続出すると思います。

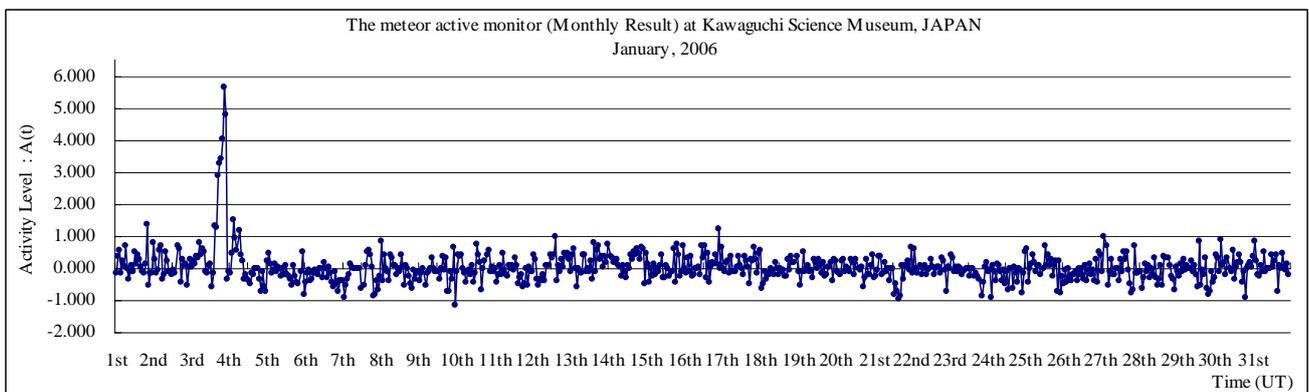


図2. 2006年1月流星電波観測 観測結果 (川口市科学館：埼玉県)

図2は埼玉県川口市科学館における2006年の1月のActivity Level 計算結果です。ご覧のようにActivity Level 5を超えており、活動も1月2日頃から見えてきます。この傾向は毎年見られ、川口市科学館においては、2004年以降、Activity Levelは高い数値を捕らえています。また、流星電波観測で検出できる全体の活動期間としては、例年、1月2日頃から活動レベルが上がってきます。そして極大終了後は顕著に活動レベルが低下します。

また、53MHzの電波観測では年によっては天頂効果が観測されます。ちょうど輻射点南中時刻が9時から10時となるため、この頃、流星エコー数が下がる場合があります。その場合、見かけ上極大が2つに見えてしまいますので、極大時刻決定の際は気をつけてください。

2007年スタートを飾るすばらしい流星群です。観測機材のチェック、カウントをよろしく願いいたします。

この他、1月に検出できるような流星群の活動は例年ありません。しぶんぎ座流星群を終えるとしばらくの間は落ち着いた活動となるはずですが、突発出現のモニターとともに、これまで観測してきたデータをまとめたり、機材のチェックをしたりと、引き続き観測をお願いいたします。

### 3. 10月度定常観測報告

10月度定常観測を頂いたのは以下の方々です。(敬称略)

藤戸健司(三重)、坪井正紀(広島)、杉本弘文(東京)、相原正己(神奈川)、三部重雄(北海道)、  
吉川泰史(愛知-28MHz)、久保田麻三留(神奈川)、齊藤直也(東京)、江原稔(埼玉)、松本誠樹(兵庫県)  
川口市立科学館[松田正彦](埼玉)、青森県立十和田工業高校無線部(青森)

図3に10月度の流星群活動状況を報告します。図4は埼玉県川口市立科学館で観測されたデータをActivity Levelの指標に計算し直した解析結果です。10月22日のピークは、国内のほぼ全地点で観測されており、オリオン座流星群の突発出現によるものと推測されます。10月はこの活動以外は目立った活動は捕らえられていません。

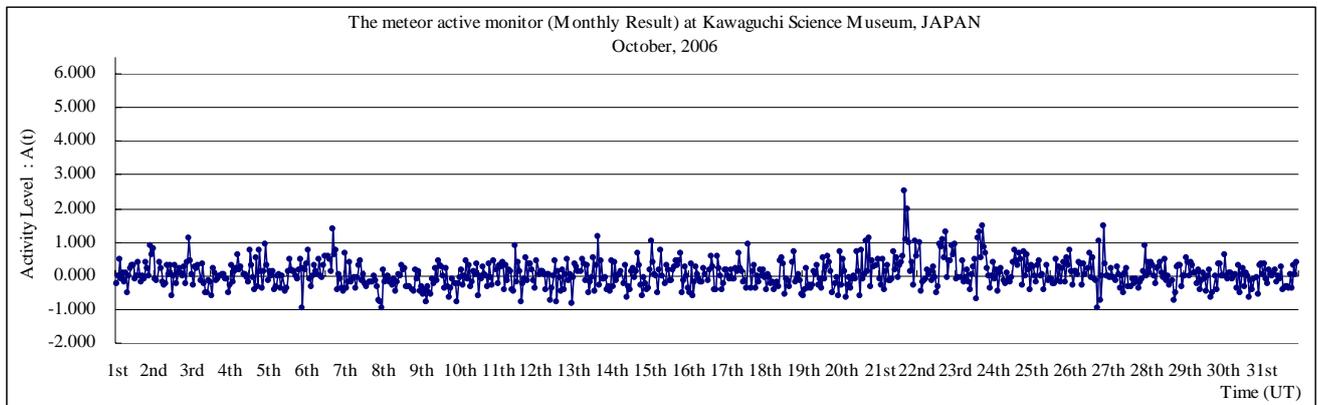


図3. 2006年10月流星電波観測 観測結果 (齊藤直也氏：東京都)

#### みなさんの観測結果や解析・研究結果を是非お寄せ下さい

天文回報では、日本流星研究会会員の方々から寄せられました観測結果や研究・解析結果に加え、流星電波観測国際プロジェクトで報告されているデータを取り扱います。流星電波観測国際プロジェクトについて、詳細は、<http://www.amro-net.jp> をご参照下さい。

みなさまからのご寄稿お待ちしております。原稿等については、Word・一太郎・LaTeX などおおよそのファイル形式では対応できます。毎月5日を締切とし、翌月天文回報の原稿に掲載させていただきます。宛先は、[h-ogawa@nms.gr.jp](mailto:h-ogawa@nms.gr.jp) まで